



TITLE:

表紙・目次・編集後記

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次・編集後記. 公共空間 2009, 2

ISSUE DATE:

2009

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/143635>

RIGHT:

本誌掲載の写真・イラスト・記事の無断転載・二次利用はお断りいたします

公共空間

2009 Spring

特集 公務員制度改革と 公共政策大学院

— 公共政策大学院教育と公務員制度 改革の関わり

京都大学公共政策大学院教授
秋月 謙吾

— 公務員制度改革と公共政策大学院 について

前京都大学公共政策大学院特別教授
今仲 康之

— 意識調査 院生の見る公務員制度改革、 公務員像と公共政策大学院

～Essay～

公共政策の現場で働くこと

日本銀行総裁 前京都大学公共政策大学院教授
白川 方明

～イベントレポート～

経済産業省事務次官講演会

今、経済政策に何を求めるべきか

～経済産業省の政策とその今日的意義～

～学生投稿～

八尾市における中小企業政策

京都大学公共政策大学院二回生
木幡 飛一



『公共空間』編集委員会

京都大学公共政策大学院

Kyoto University School of Government

★編集後記★

雑誌の編集という稀有な経験を通じて、普段自分が何気なく手にしている雑誌に凄まじい労力がかけられていることを実感しました。もう雑誌を足蹴にするなんて絶対しません。最後になりますが、公共空間に関わって頂いた全ての方にありがとうございます。(梅)

嘘かまことか、英国の諺にこうある、「馬鹿と氣狂いは真実を言う」。そしてヘルシアの諺に、「良い結果をもたらす嘘は、不幸をもたらす真実よりも良い」。さて、この雑誌を作った編集委員は真実を伝える気遣いか、あるいは嘘つきか。真偽はともあれ、この雑誌が良い結果をもたらしますように……。 (田)

梅原君に誘われて、編集に参加させていただくことになりました。しかし、なぜ声をかけられたのか。①小生の溢れんばかりの才能に着目して②時間に余裕がありそう(暇そう)だから③とりあえず誘いやすいから……。③だな。たぶん。(大)

年二回発行予定の弊誌一冊が捉えるべきスパンは半年。あつという間に過ぎる長さでもあるが、その間の変化の見極めは難しい。半年後、ガソリン価格・対ドル円・民主党の議席、どれが最も大きい数字になっているでしょうか？正解した方には…。(樫)

雑誌に載せたい話があった。人環・総人図書館報創刊号に文章を載せた後、さらに人に伝えたい話をエッセイとして書いた。タイトルは「心」。この大学院でふらふら動いていた人間には近所の喫茶店という心の支えがあったという話である。みなさんには人に伝えたい話がありますか？(佐)

『公共空間』 二〇〇九年 春号

発行人 『公共空間』編集委員会

編集長 梅原 悠太

副編集長 田上 翔(修了生)

編集委員 大西 健

樫村 さや香(修了生)
佐野 太南(修了生)

編集顧問 大石 眞

編集協力 小屋敷 浩

西村 晃代

狩集 勇太

川村 晋平

京都大学公共政策大学院『公共空間』編集部

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学 法学公共政策大学院掛

TEL 075-753-3126

本誌掲載の写真・イラスト・記事の
無断転載・二次利用はお断りいたします

雑誌『公共空間』学生投稿募集について

雑誌『公共空間』は学生投稿枠を設け、皆さんの原稿を募集します。

募 集 要 綱

1. 内容

①特集テーマ投稿

『公共空間』では、各号特集を組む予定ですが、そのテーマに沿った内容で募集します。特集内の他の論文との重複を避けるなど、内容面で若干の制約を設ける場合があります。

②自由テーマ投稿

公共政策に関するものであれば、テーマは自由です。授業で作成したレポートやプレゼンテーション資料を用いても構いません（ただし、文書形式でお願いします）。

2. 字数と書式

A4で3から4ページ分、字数に換算して4000～5500字。

3. 応募締め切り

各号毎に締め切りを設定します。

4. 応募条件

本公共政策大学院に在学する学生であること。

5. 応募宛先

件名に『公共空間』特集テーマ投稿／自由テーマ投稿応募」と明記の上、
koukyoukukan@yahoo.co.jp まで、ご連絡下さい。
なお、その際におおまかなテーマについてもお伝え下さい。

6. その他

・応募多数の場合などは、編集部での協議の上、執筆者、掲載原稿を決定させていただきます。

